

血管カテーテル室での手指衛生遵守向上のための取り組み

【目的】医療者の感染防御対策として、手指衛生は最も重要な対策である。しかし、カテーテル室(以下カテ室)での看護師の手指衛生の実態やコンプライアンスについては報告が見当たらない。手指衛生の正しい知識を持ち、意図的に遵守できるように当院の現状を把握し、介入を行うことでコンプライアンスの向上を図る。【方法】質問紙調査、WHO直接観察法を用いて遵守率を調査する。勉強会前後で意識調査・遵守率の変化を比較・検討した。【結果】勉強会前の意識調査では、手指衛生を処置前にいつもしているは 0%、殆どしているは 44%、あまりしていないは 56%であった。WHO観察法での調査では、手指衛生実施率は 10%であった。勉強会後の意識調査では看護師全員の手指衛生に対する知識と必要性の理解はとて増えた・増えたとの回答あり。手指衛生実施率は 46%であった。【考察】勉強会前の意識調査結果では、手指衛生に対する意識はある程度あるが、実際の行動に結びついていない。勉強会後の結果、手指衛生への関心が高まっており、実際の手指衛生の実施率も 36%増加している。しかし、未実施率は 64%と半数以上が実施できていないことが明らかになった。勉強会により、意識づけはできたが、行動変容ができたのは 4 割であり、定着には至っていない。未実施の理由は、忘れてしまう・患者の近くに手指消毒がない事が挙げられた。今後の課題としては、看護師同士の声の掛け合いや手指衛生の掲示物の作成、手指消毒置き場の見直しなど行動の定着ができるような取り組みが必要と考える。